

2016年1月入職

たかはしたくみ
高橋 匠



丁寧な行動は、やがて周囲を変えていく

ご利用者さまを取り巻くすべてを気にかけて

理学療法士という仕事は、色々な方たちに日々出会います。ご利用者のご家族の方もそれぞれに様々な事情を抱えていて、例えば自分の子どもが受験前で忙しい時期なのに、寸暇を惜しんで面会にいらっしゃるケースもあります。無理がたたってご家族の方まで体調を崩されてしまっては本末転倒となりかねません。そこで、ご家族の方の表情や様子から疲れを察したときは、「リハビリは順調なので面会のペースを落とされてもかまいませんよ」などの声をかけるように心がけています。ご家族や友人の方を含め、ご利用者さまを取り巻く環境の全てに気を配り、まわりの方たちの体調や心理面の不安も解決できるよう仕事に取り組みたいと考えています。

先んじて取り組み、模範となれるよう、丁寧に



私が業務時間中に意識しているのは「丁寧さ」です。これまでには忙しくなると、口調が早くなってしまったりすることがありました。しかし、思いやりエキスパートの研修を通して余裕が生まれたのか、仕事に焦ることがなくなり、今は丁寧な対応ができるようになった実感があります。

丁寧な対応をされて怒る人はいないと思います。相手が感情的になっていたとしても、丁寧な対応をしていれば、いつか耳を傾けていただけてもと思っています。研修を通して、その丁寧さが磨かれたことは、人として成長できていている証でもあると思っています。

不思議なことに、私が丁寧な対応をしていると、周囲にも所作や言葉遣い移っていきます。挨拶ひとつにしても、私がきちんとした姿勢でお辞儀をすると、お辞儀をされたご利用者さまからも同じようにお返しただけたりするようになります。一緒に働いているスタッフも同様です。私は背中のみまわりを引っ張っていくタイプなので、言葉で発破をかけていくわけではありません。ですが、私ひとりのアクションからですら、周囲のスタッフが変わっていきます。おそらく、丁寧な行動というのは、その背景にある思いが自然と人に伝播し、やがて移っていくのではないのでしょうか。これからも丁寧さを意識しながら率先垂範で行動を起こし、施設全体により良い影響を与えていきたいと思っています。



笑顔と感謝

高橋匠